

基本目標 1 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進**推進項目**

- (1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出
- (2) 子どものスポーツ活動の推進
- (3) 18 歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- (4) 障がい者のスポーツ活動の推進

事業の進捗状況

- ・スポーツ少年団本部では、子どもたちに大会参加の機会を作りたいという想いのもと、野球・サッカー・卓球各専門部会が感染対策を万全にして大会運営を工夫しながら本部大会を開催した（バスケ、バレー、剣道は 10 月以降開催予定）。
- ・昨年、民間企業から本市及び各地区体育振興会へ寄贈いただいたニュースポーツ「モルック」の道具を活用して、各地区で研修会や体験会、教室などが開催されている。ウィズコロナの時代に、運動不足を解消し、安心して楽しめるスポーツとしてフロアカーリングやカローリングなどと合わせて地域に広まってきている。
- ・令和 5 年度からの中学校部活動の地域移行に向けて、学校教育課を中心に「酒田市中学校部活動の在り方を考える会」を開催し、各総合型地域スポーツクラブと情報交換を行った。
- ・「障がい者のスポーツ活動の推進」については、酒田市スポーツ推進委員会において、障がい者スポーツの理解を深める取り組みとして、R4.2.19 に義足アスリートの講演と義足の体験会を予定している。

現状評価

- ・地域に根差した存在である体育振興会、スポーツ推進委員会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブの活動を推進することは、幅広い年齢層にスポーツを楽しんでもらうために有効な手段であり、「誰もが楽しめる生涯スポーツの推進」に繋がっていると考えられるが、コロナ禍で地域活動が縮小傾向にあることから、今までのように活発なスポーツ活動が再開できるように各団体と連携して取り組む必要がある。

令和 4 年度の予算要求に向けて

- ・子どもたちが自分に適したスポーツに出会い、スポーツ・運動を楽しむ子ども達を増やすきっかけを創出するとともに、子どものスポーツ実施率向上のため運動やスポーツを好きになってもらう事業を展開する。
- ・共生社会の実現に向けて、年齢や性別、障がいの有無に関係なく、市民が誰でも気軽にスポーツを「する」「みる」「ささえる」活動を楽しむことで、心身の健康の保持促進と健康で活力に満ちた長寿社会の実現を目指す。
- ・5 月と 10 月に民間企業が開催する「ラン&ウオーク」イベントに酒田市として参加申込を行い、コロナ禍における市民の運動不足や免疫力の低下に伴う健康二次被害を解消するとともに、スポーツ実施率の向上をねらいとする。内容としては、スマートフォンのア

